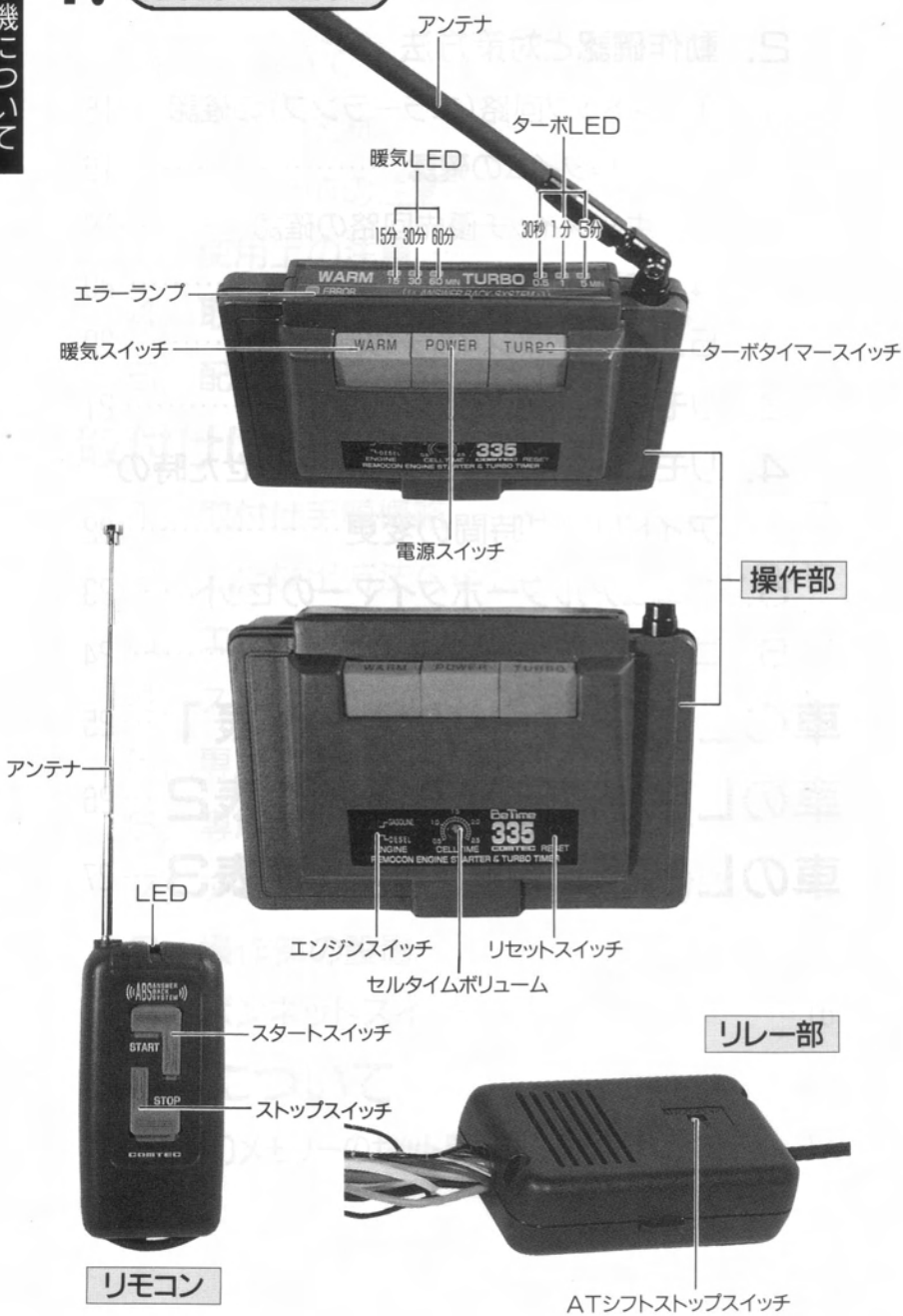
取扱説明書
と
保証書

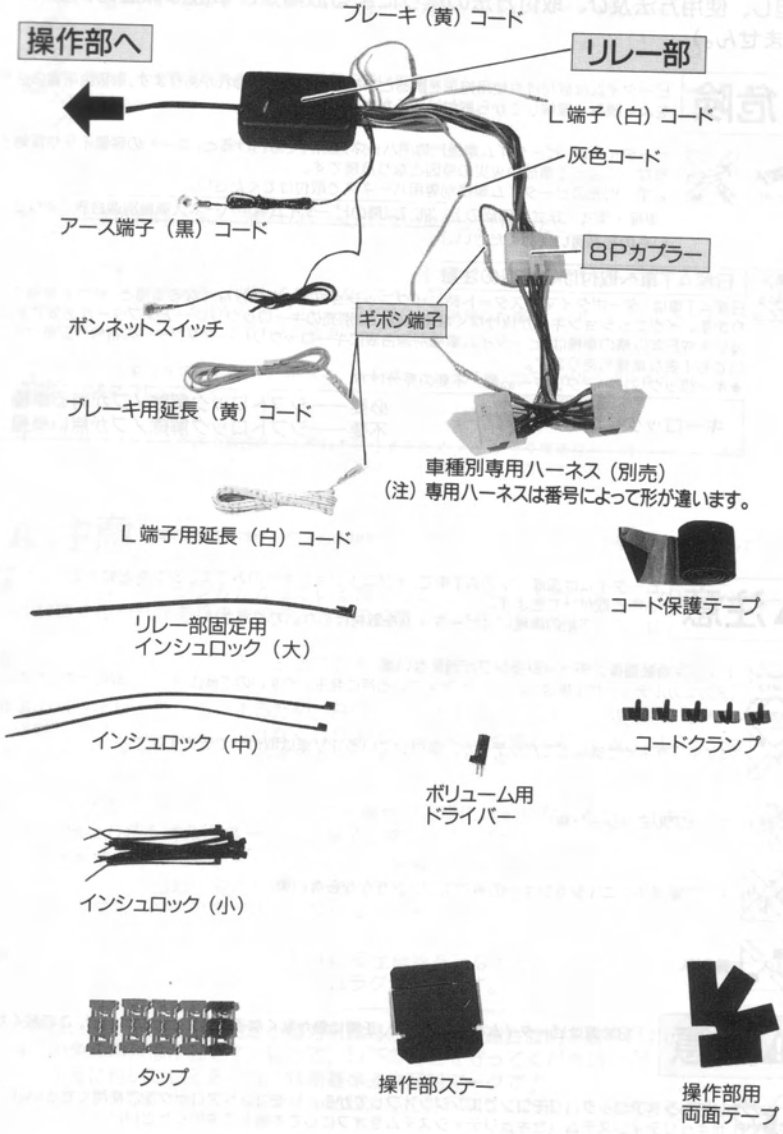
この取扱説明書には、ビータイムの標準取付方法及び注意が説明してあります。本書をよく読んで理解してから取付及びご使用ください。本書は常に手もとにおいてご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたときにもよく読んで内容を理解してご使用ください。

BeTime
335

本機について

1. 各部の名称




操作部へ
ブレーキ（黄）コード
リレー部
L端子（白）コード
灰色コード
アース端子（黒）コード
8Pカプラー
ボンネットスイッチ
ギボシ端子
ブレーキ用延長（黄）コード
車種別専用ハーネス（別売）
（注）専用ハーネスは番号によって形が違います。
L端子用延長（白）コード
コード保護テープ
リレー部固定用
インシュロック（大）
インシュロック（中）
コードクランプ
ボリューム用
ドライバー
インシュロック（小）
タップ
操作部ステー
操作部用
両面テープ

2. 取付け前の注意

●保証書は必ず「販売店名印」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●ビータイムにはお買い上げの日から１年間の保証がついています。
（但し、使用方法及び、取付方法の誤りによる故障及び事故は保証の対象になりません。）

⚠危険 ビータイムは取付けや使用方法を誤ると事故や火災を招く恐れがあります。取扱説明書の注意をよく読み、理解してから取付けてください。

ビータイムは、ビータイム車種別専用ハーネス以外で取付けると、コードの容量不足や接触不良などによって事故や火災の原因となり危険です。
必ず、別売のビータイム車種別専用ハーネスで取付けてください。
（車種・型式・年式を確認の上 '96.7以降のビータイム専用ハーネス車種別適合表 より正しいものをお買い求めください。）

日産AT車へ取付ける人への注意

日産AT車は、ターボタイマースタート時にイグニッションキーが抜けなくなる車種と、抜ける車種があります。イグニッションキーが抜けなくなる車種には別売のキーロックリレーアダプターが必要です。特に平成5年以降の車種は、ビータイム車種別適合表にキーロックリレーアダプターの番号が記載されていても不要な車種もあります。
●キーロックリレーアダプター必要・不要の見分け方

キーロックリレーアダプター	必要――シフトロック解除ノブが有る車種 不要――シフトロック解除ノブが無い車種

⚠注意 ビータイムは国産12VのAT車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動することができる車に取付けできます。
従って、下記の車種にはビータイムを取付けしないでください。

エンジン始動直後、チャージランプが消えない車
（メカニカルディーゼル車は、エンジンが冷えている時に発生しやすいので確認してから取付けてください。）

24V車（寒冷地仕様などでバッテリが2個付いている12V車は取付けできます。）

マニュアルミッション車

キャブ車（イグニッションキーのみでエンジンがかからない車）

輸入車

⚠注意 下記装置はビータイムを装着すると、正常に働かなくなる車種がありますので、ご容赦ください。

リモコンドアロック（リモコンでエンジンオフしてから、リモコンドアロックをご使用ください。）
セキュリティシステム（セキュリティシステムをオフにして本機をご使用ください。）

オートポジションステアリング&シート
（乗車時、リモコンでエンジンをオフしてからイグニッションキーでエンジン始動してください。レジェンドDPS装備車は、取付け時に解除しなければならないため、Be-959をお買い求めください。）

オートヘッドランプ
（降車時、オートヘッドランプをオフにしてからイグニッションキーを抜いてください。）

3. 使用上の注意

⚠注意 事故・火災などの危険性がある、下記の状態や場所での使用はしないでください。

公道や公共の駐車場での使用は法令違反となります。必ず私有地でご使用ください。

排気ガス中毒の危険性がある、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。

ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。

火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。

暴走事故を防止するため、イグニッションキーをオフにする時はATシフトをPポジションに入れ、ハンドブレーキを確実に利かしてから行なってください。
特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、Pポジション以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。

けがや事故を防止するため、ボンネットを開けている時や、他の人が車を使用する時は、ビータイムの電源をオフにしてください。

ID メモリー
バッテリ上りや車の暴走などの危険を防止するため、バッテリ交換後など一端ビータイム本体の電源が切れた場合は、電源復帰直後に必らずIDメモリーのセットを行なってください。

⚠注意 車の故障又はビータイムの機能上の支障の可能性がある、下記の使用方法は注意してください。

●ビータイムでエンジンがかかっている時に、エンジンキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、オンの位置で止めてください。

●リモコンのケースやアンテナを手で包み込むと電波の飛距離が短くなります。

●車のバッテリ上りを防止するため、8日間以上車を使用しなかった場合は、スリープ機能が作動し、リモコンを受け付けなくなります。再使用する場合は、一度イグニッションキーをオンにしてオフにするか、操作部スイッチのどれかを押してください。

● 下記原因などで、リモコンスターター機能が正常に作動しない車があります。この場合、動作検出方法をオルタネータのL端子で検出してください。

1. 消費電力が大巾に変った時（ライト・熱線など）
2. モーターの回転に変化があった時（デュアルエアコン・ワイパー・電動ファンなど）
3. オルタネータの充電が不安定又は変化があった時

●ビータイムのパワーオン/オフ時には、安全確認を行なうためイグニッションキーオフ後、エンジンが停止するまで、若干のタイムラグがあります。

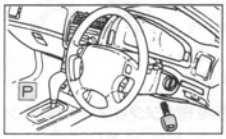
本機は、電波法に基づく特定小電力無線局の技術基準適合証明を取得していますので、無線局の免許申請は不要です。従って、以下のことを守ってください。
① 製品に付いている表示は、技術基準適合証明マークです。
② 表示マークの付いている製品を郵政大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
③ 改造すると法律により罰せられます。

4. 取付け時の注意とタップの使用法

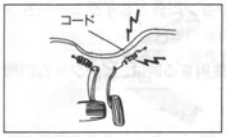
⚠危険 取付け方法を誤ると、月日が経ってからでも1～5のような事故を招く恐れがあります。

1. 車や車庫などの火災
2. 人身、物損事故
3. 走行不能
4. セルモーター・バッテリ・コンピュータなどの破損
5. ビータイム本体の破損

前項の1.（取付け時の注意）、2.（取付け前の注意）及び3.（使用上の注意）をはじめ、各項目の指示をよく読み、理解してから取付けてください。



●作業前に必ず、タイヤの前後に輪止めを利かせてください。
●ATシフトはPレンジへ、ハンドブレーキはしっかり利かせてください。

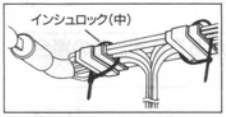


●ビータイムのコードが車の金属部(ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など)に触れていると、月日が過ぎてからコードの被覆が削れて、ショートする恐れがあります。

重要 ➡

●コードが金属部に触れないように、インシュロック(小)を使って配線してください。
●コードが触れそうな金属部に、コード保護テープを貼ってコードを保護してください。
●コードの配線確認や配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。
●ビータイムを設置する時はヒーターの出口や直射日光など熱くなる場所ををさけてください。

●取付け作業中に『異常かな』と感じた時は、すぐに専用ハーネスとリレー部を結ぐ8Pカプラーを抜いてください。



●専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用して抜けないようにしてください。

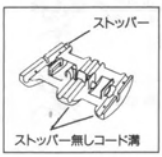
IDメモリーはすぐに

●コンピューターの暴走で事故・故障を防止するため、専用ハーネスと操作部アース端子の取付け直後には、必ずIDメモリーのセットを行なってください。

■タップの使用法

●タップの使い方が誤っていると、接触不良または、ボディへのショートなどが発生し危険です。下記の手順で使用してください。

1. タップを図のように見る



2. ストッパー付コード溝に本機のコードをはさむ

3. プライヤーなどでロックする

4. ストッパー無しコード溝に車側のコードをはさむ

5. プライヤーなどでロックする

取付けについて

1. 取付け手順概略

動作検出方法の選択

1．オルタネータのL端子で検出する方法を選択しなければならない車種は、
→ L端子(白)コードの配線及びセット方法

2．電源から自動検出する方法を選択する場合は、
→ 電源から自動検出する場合のセット方法

エンジンスイッチの選択

ストップ回路の方式と注意

1．フットブレーキへ配線する方法を選択しなければならない車種は、
→ ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法
→ ブレーキ(黄)コードをフットブレーキにタップで結線する
フットブレーキを（踏んで12V 放して0V になるストップランプスイッチのコード）

2．ATシフトストップの方法を選択する場合は、
→ ATシフトストップの方法を選択する場合
→ リレーボックスのATシフトストップスイッチ1か2を選択

専用ハーネス・リレー部の配線

1．専用ハーネスの8Pカプラーとリレー部の8Pカプラーをさし込む
↓
2．専用ハーネスの仕様によって①②③の配線方法から選択して作業する

注意　②③に該当する専用ハーネスは灰色コードのさし替えを必ず行なってください。

専用ハーネスを車へ取付け

アース端子(黒コード)の正しい取付け

操作部の設置

IDメモリーのセット時の注意とセット方法

ボンネットスイッチの取付け

2. 動作検出方法の選択

■ビータイムはエンジン始動の動作検出を2パターンの方法のいづれかを選択して取付けします。

1 オルタネータのL端子で検出する方法 を選択しなければならない車種
（検出の確実性→高）

トヨタ	クラウン（120・130系）・デュアルエアコン装備車・ディーゼル全車
日　産	セドリック・グロリアなど（G・Y系）・ディーゼル全車・デュアルエアコン装備車
三　菱	ディーゼル全車・インベックスⅡ装備車
イスズ	ディーゼル全車

その他の車種でも、電装品のノイズが多い車・低温時のアイドリングが低い車などは検出の確実性の高いオルタネータのL端子で検出する方法を選択してください。

■L端子の見つけ方

L端子は、車のオルタネータ（発電器）から出ている細いコード2～3本のうちの1本です。

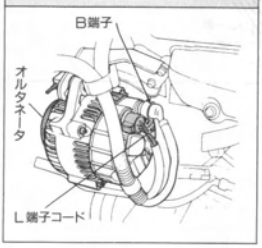
L端子の基準電圧は（イグニッションキーON（エンジンがかかっていない）の状態で　4V以下
イグニッションキーON（エンジンが始動している）の状態で　6V以上）

注意
●L端子が上記基準電圧外の車はエンジン始動の検出ができません。
●L端子コードはL端子コードの色一覧表を参考に見つけてください。

■トヨタ車（A型エンジン以外）の大半の車は下記の場所でもL端子検出ができます。（注意1）

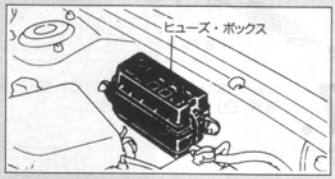
オルタネータの平均的な位置

L端子の平均的な位置



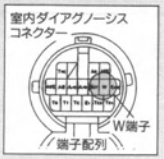
（注意1）トヨタ車でも1 2 3が無い車、又はあってもL端子基準電圧外の車もあります。したがって配線前に必らずL端子電圧が基準電圧になっているかを確認してください。

1 エンジンルームのヒューズボックス内のチャージヒューズ（大半のトヨタ車）



2 エンジンルーム内にあるDAIAGNOCIS（ダイアグノーシス）のW端子（大半のトヨタ車）

3 室内にあるDAIAGNOCIS（ダイアグノーシス）のW端子クラウン系・ソアラ・スープラ等



取付けについて

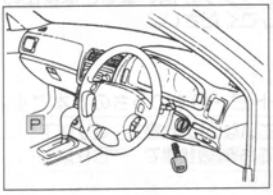
1 オルタネータのL端子で検出する方法

⚠注意

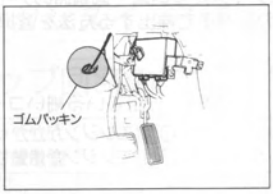
- L端子(白)コード及び、延長(白)コードが車の金属部にショートすると車の故障や火災の原因になります。そのコードが触れそうな金属部にはコード保護テープを貼りつけ、インシュロック(小)を使用して保護してください。(コードの配線確認や、配線のやり直し等を考えて、コード保護テープは貼り直しができませんので、必ずコードではなく、金属部に貼ってください。)
- L端子にコードを配線する時は、必ずイグニッションキーを抜き、ビータイムの電源を切った状態で行なってください。

オルタネータへ配線したケースで説明してあります。

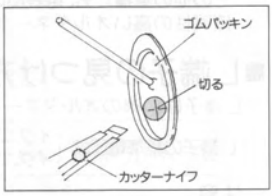
1. ATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く



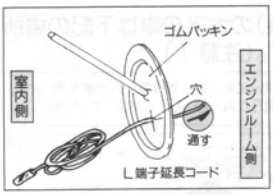
2. エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、コードが通る場所をさがす



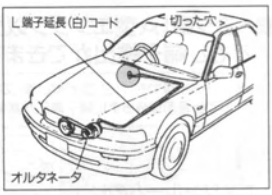
3. コードが通るようにカッターナイフなどで、ゴムパッキンなどを切り穴を開ける



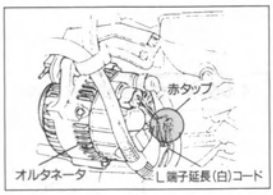
4. 切った穴にL端子延長(白)コードをギボシ端子の付いていない方から入れる



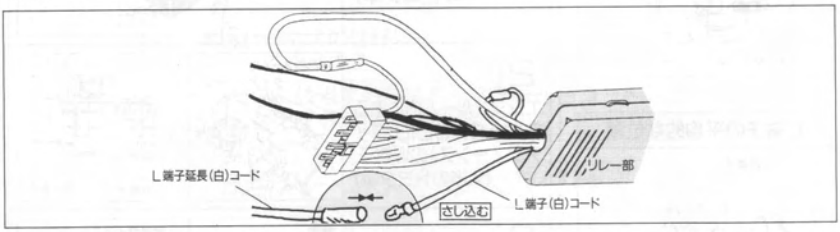
5. 車のL端子コードまでL端子延長(白)コードを配線する



6. 車のL端子コードと、配線したL端子延長コードを付属の赤タップで結線する



7. リレーボックスから出ているL端子(白)コードと、L端子延長(白)コードをさし込む。



2 電源から自動検出する方法

2 電源から自動検出する方法 を選択する場合

（検出の確実性→中）

- 1 オルタネータのL端子で検出する方法 に対し、取付けが簡単になりますが、電源ノイズの影響を受けやすいため、電装品の使用状態によっては、エンジン始動ができない場合があります。
- 1 オルタネータのL端子で検出する方法 でL端子が基準電圧外の場合、電源から自動検出する方法を選択してください。

セット方法

L端子配線などせず、そのままでOKです。

3. エンジンスイッチの選択

●エンジンの種類（ガソリン車・ディーゼル車）や特性に合せて、操作部のエンジンスイッチを選択します。

エンジンスイッチ

エンジンスイッチ	オンからセルモーターが回るまでの時間（グロー時間）
G（ガソリン車）	1.5秒
D（ディーゼル車）	5秒

4. ストップ回路の方式と注意

■ビータイムはイグニッションキーをONまで回さずに走行しようとすると操作部のエラーランプが点灯してエンジンをストップさせます。また、元のスタンバイ状態に復帰させる時は、イグニッションキーをONまで回すとエラーランプが消えます。

ビータイムのストップ回路は 1 フットブレーキ(ストップランプスイッチ)へ配線する方法 とATシフトレバーをPポジションからRポジションへ移動した時に自動ストップする 2 ATシフトストップの方法 があります。下記の指示に従って選択してください。

1 フットブレーキ(ストップランプスイッチ)へ配線する方法 を選択しなければならない車種

⚠注意 下記に該当する車種で、フットブレーキ配線を行なわなかった場合、車の故障を招く恐れがありますので、必ずフットブレーキ配線を行なってください。

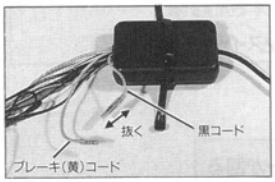
- トヨタ ワンボックス車とディーゼル車とオートエアコン装着車
- 日　産 全車(ディーゼル車含む)
- 三　菱 デリカ(スペースギア・スターワゴン)
- ホンダ レジェンド全車
- ビータイムでエンジン始動した時にセルが回り続ける車種
- エアバックなどの警告ランプが点灯する車種
- 2 ATシフトストップの方法 で、リレーボックスのATシフトストップスイッチを1、2のどちらに設定してもエンジンが止まらない車種
- 2 ATシフトストップの方法 で、ATシフトレバーを移動しなくても操作部の表示部のエラーランプが点灯してしまい、ビータイムでエンジン始動ができない車種

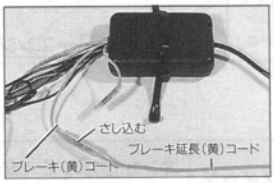
■ブレーキ(黄)コードをフットブレーキへ配線する方法

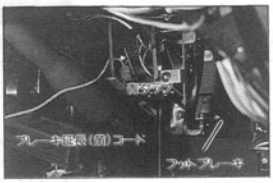
1. リレー部のブレーキ(黄)コードと黒コードのギボシを抜く

2. ブレーキ用延長(黄)コードとブレーキ(黄)コードのギボシをさし込む(黒コードは抜いたまま)

3. ブレーキ用延長(黄)コードをフットブレーキを踏んで12V、放して0Vのコードへタップで結線する







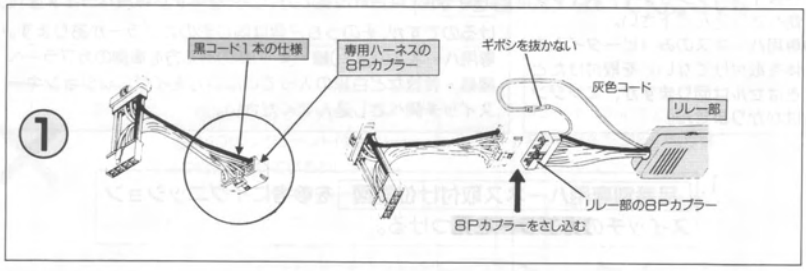
5. 専用ハーネス・リレー部の配線

■下記の説明図はBe-151の専用ハーネスをモデルとしています。
下記の①②③から専用ハーネスの番号と黒又は灰色コードの仕様を確認のうえ、それぞれの配線方法に従って作業を行なってください。

専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが1本の場合の配線方法

灰色コードのギボシを抜かずにカプラーをさし込む

専用ハーネス番号					
Be-	156	161	241	351	352
	353	354	355	455	458
	553	554	555	651	652
	751	752	753	754	755
	851	852	853	854	855
	856	857	858	859	860
	861	862	863	864	865

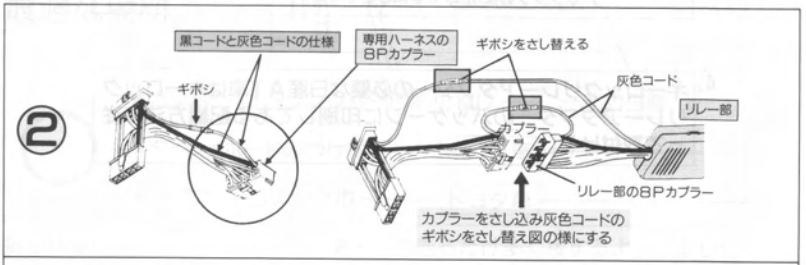


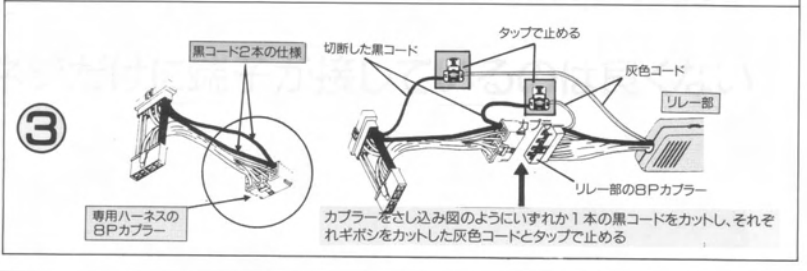
専用ハーネスの8Pカプラーに黒コードが2本又は、黒色と灰色コードがある場合の配線方法

この灰色コードのさし替えは必ず行なってください。
灰色コードのさし替えを行なわない場合、エアコンが正常に動作しない、ATシフトストップが働かない、アイドリングが不安定になる、オルタネータの破壊、バッテリ上り、車のコンピュータ破壊などを引き起す車種があります。よって誤りのない様に配線してください。

灰色コードのギボシをさし替えてカプラーをさし込む

専用ハーネス番号						
Be-	151	152	153	154	155	157
	158	160				
	251	252	253	254	255	256
	258	259				
	451	452	453	454	456	
	551	552		653		





6. 専用ハーネスを車へ取付け

参考資料

- (緑/白)線・(青/白)線・(黄/白)線など白ラインの入っているコードを車側へ、白ラインの入っていないコードはイグニッションキースイッチ側へさし込んで下さい。
- 専用ハーネスのみ（ビータイム本体を取付けてない）を取付けたときはセルは回りますが、エンジンはかかりません。

品番別専用ハーネス取付け位置図

一般車 イグニッションキースイッチの裏から10〜30cmにカプラーがあります。

イグニッションキースイッチ直付 Be-155・160・161・253・259・352・354・355・453・454・455・458・651・863

ヒューズボックス付近 Be-852・853・856・857・864・865

イグニッションキー付近とヒューズボックス付近の2個所

Be-854・855・858・859・860

プレリュード（Be-858）取付注意 ステアリング右下に3P、ヒューズボックス上に5Pをさし込む

ステアリング右下に5Pを結線するとビータイムのIG2が壊れます。

Be-351 は合計3個のカプラーをはずし専用ハーネスを付けるのですが、そのうち2個は同じ形のカプラーがあります。専用ハーネスの(緑/白)線・(黄/白)線のある方を車側のカプラーへ緑線・黄線など白線の入っていない方をイグニッションキースイッチ側へさし込んでください。

1. **品番別専用ハーネス取付け位置図** を参考にイグニッションスイッチのカプラーを見つける。

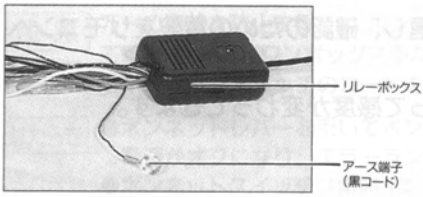
2. イグニッションスイッチのカプラーを抜いて、イグニッションキーをセルまで回し、車の電源が入らない事を確認する。

3. 専用ハーネスを車に取付ける。

   ⚠注意 専用ハーネスにロック機構の付いていない場合は、インシュロック(中)を使用して抜けないようにしてください。4. (取付け時の注意とタップの使用法) を参照してください。

4. キーロックリレーアダプターの必要な日産AT車はキーロックリレーアダプターのパッケージに印刷してある配線方法に従って取付ける。

7. アース端子(黒コード)の正しい取付け

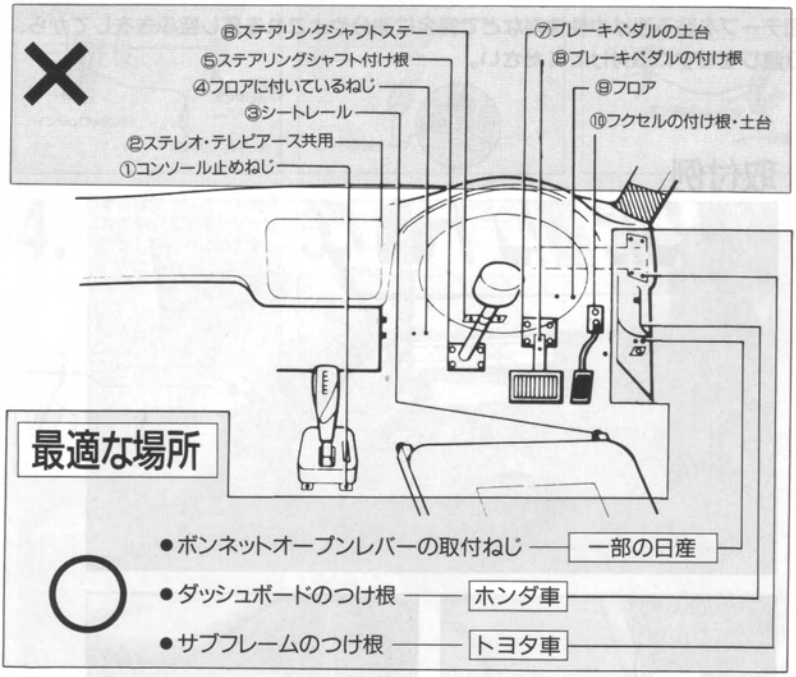


1. アース端子を下図と注意を参考に取付けてください。
2. コンピューターの暴走で事故・故障を防止するため、IDメモリーのセットをすぐに行なってください。

注意	不適切な場所へアース端子を取付けるとリモコンの飛距離が短くなったり、その他のトラブル発生の原因になります。(テスターでアースが取れていても不適切な場所はたくさんあります。)

不適切な場所

①～⑩までのようなフロア(床)からボンネットルームまでの部分及びそれに付いている部分にはアース端子を取付けないでください。



塗装されていないフレームへアース端子ができるだけ多く接するように取り付ける

ネジだけに端子が接しているのは良くない

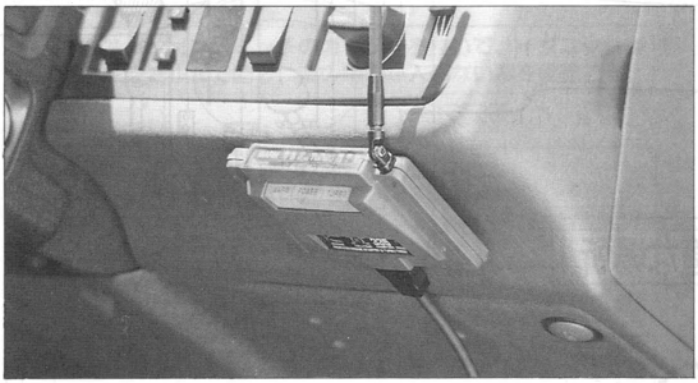
8. 操作部の設置

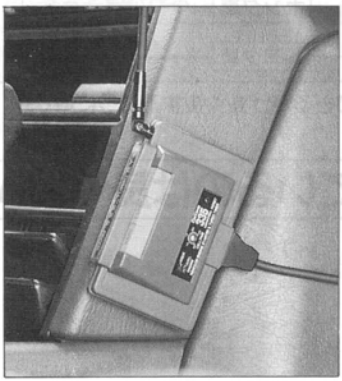
■操作部はリモコンからの電波を受信し、確認のための電波をリモコンへ発信します。
したがって操作部の設置場所によって感度が変わってきます。

注 意　操作部は送・受信機です。
したがって電波法上の規定でアンテナと一体構造になっています。
下記に注意して設置してください。

●直射日光のあたらない場所に設置してください。
●ダッシュ等へ貼る時は必ずステーを使用してください。
●車のダッシュボードなどにそのまま両面テープを使用又は、貼り直しをすると、充分な接着力が得られません。
●両面テープを貼る面は中性洗剤などで完全に油分やよごれを落し空ふきをしてから、貼り直しをせずに取付けてください。

取付例





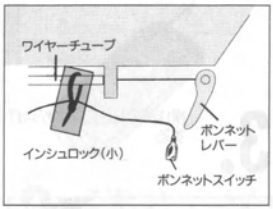
9. ボンネットスイッチの取付け

注 意 万一の事故を防止するため、ボンネットスイッチはボンネットレバーに取付けてください。但しワンボックス車などボンネットレバーのない車はニッパなどでボンネットスイッチのコードをカットして絶縁テープを巻いてください。

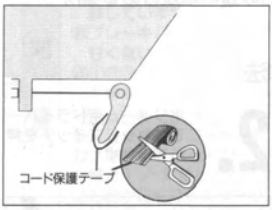
はたらき
- ボンネットレバーを引いてボンネットスイッチが押されるとビータイムの電源がオフになり、エラーランプが常時点灯します。
- ボンネットスイッチは常時（エンジンオン・オフに関わらず）作動します。
- ビータイムの電源を復帰する時は、イグニッションキーON又はエンジン始動中に操作部のパワースイッチを押して電源を入れてください。

取付け

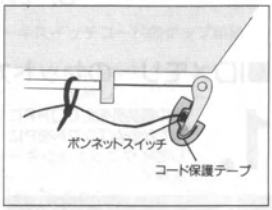
1. ボンネットスイッチのコードをボンネットレバーのワイヤーチューブにインシュロック(小)でゆるく仮止めする



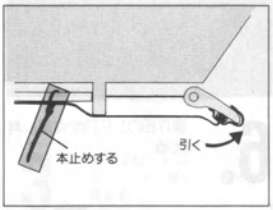
2. コード保護テープをボンネットレバーの大きさに合うようにカットする



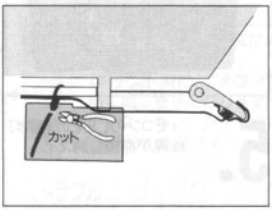
3. ボンネットスイッチをボンネットレバーの裏側にあて、コード保護テープで止める



4. ボンネットレバーを最後まで引いて、インシュロック(小)を本止めする



5. インシュロックの余りをニッパなどでカットする



セットについて

1. IDメモリーのセット時の注意とセット方法

IDメモリーのセットとは、

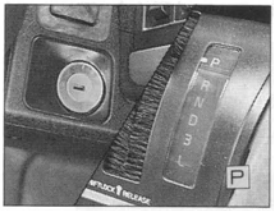
リモコンのIDコードをビータイム本体に又、本体のIDをリモコンに記憶させることで、他のリモコンや他の電波による誤作動を防止させています。
また、IDメモリーのセットを行なっていない時は、ビータイムの電源が入いりません。

⚠危険 IDメモリーのセットを行なっていない状態は、車の暴走・故障・バッテリ上りなどの原因となり危険です。

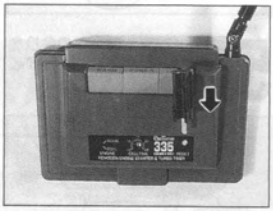
- ●ビータイム取付け後やバッテリ交換後など電源投入後はIDメモリーのセットをすぐに行なってください。
- ●IDメモリーのセットを行なう時はイグニッションキーを抜き、下記の電源を切って行なってください。
  1. セキュリティシステム（盗難防止装置）
  2. ドアブザー
  3. 携帯電話
  4. テレビ・ラジオ等
  5. その他の強い電波のある場所

■IDメモリーのセット方法

1. 車の電装品を全てOFFにしてからATシフトをPにしてイグニッションキーを抜く



2. ボリューム用ドライバーでリセットスイッチを押してはなす



3. 操作部のLED7個が点灯する

4. リモコンのアンテナを伸ばし、スタートとストップスイッチを同時にオンさせる

5. リモコンのLEDが赤点灯後緑が点滅し消える

6. 操作部のLEDが点滅し消える

7. これでリモコンは操作部の操作部はリモコンのIDを記憶できました

IDメモリーのセット終了

2. 動作確認と対策方法

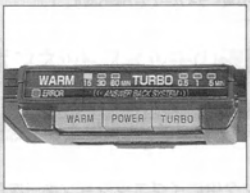
⚠注意 事故・故障などを防止するためリモコンでエンジン始動のテストを行なって、各動作確認を必らず行なってください。動作確認で正常に働かない場合は下記の対策方法にて対処してから使用してください。

リモコンでエンジン始動のテスト

- IDメモリーのセットが行なわれていないと作動しません。
- ATシフトはPポジションにしてください。
- イグニッションキーは、OFFにしてください。

1. リモコンのスタートスイッチを、2～3秒スライドさせる（LED赤点灯後緑点灯）

2. 操作部の暖気LEDが点灯する



3. 1.5又は5秒後にセルモーターが回り、暖気LEDが点滅する

4. リモコンのストップスイッチを、2～3秒スライドさせる（LED点灯）エンジンがストップする

1 ストップ回路（エラーランプ）の確認

確認 リモコンでエンジン始動のテスト を行ない、3.で暖気LEDが点滅（アイドリング）中にイグニッションキーをACCに回し、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにして、エンジンが止まり、エラーランプが点灯すればOK。

トラブル 2. の時、エラーランプが点灯する場合

対策

ブレーキ（黄）コードをフットブレーキへ配線してある場合

①ブレーキ（黄）コードと延長（黄）コードが抜けていませんか？
②ブレーキ（黄）コードをブレーキスイッチコードの常時12Vと結線していませんか？
③ブレーキ（黄）コードとブレーキスイッチコードのタップ結線が甘くないですか？
④①②③がOKでもエラーランプが点灯するなら、サイドブレーキを解除して12Vのコードへタップで結線してください。

ブレーキ（黄）コードをフットブレーキへ配線していない場合

⑤ブレーキ（黄）コードと黒コードが抜けていませんか？
⑥リレー部のATシフトストップスイッチを『1の場合2』へ、『2の場合1』へ変更してください。
⑦⑤⑥がOKでもエラーランプが点灯するなら、ブレーキ（黄）コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

トラブル 3. の時、セルが一瞬だけ回り、エンジンがかからずエラーランプが点灯又は電源が切れる。

対策

①バッテリの電圧不足又は容量不足のため、バッテリ交換の時期ではないでしょうか？
（再テスト時に、エアコンファン最高、熱線など電気負荷を与えた時に同じ症状になりますか？）
②アースの接点不良のため別の場所7.（アース端子（黒コード）の正しい取付け）に従ってください。

トラブル 3. の時、フットブレーキを踏んでATシフトをPからRにしてエンジンが止まらない場合

対策

ブレーキ（黄）コードをフットブレーキへ配線してある場合

①車のストップランプのヒューズが切れていませんか？
②①がOKでもエラーランプが点灯する場合は、フットブレーキからサイドブレーキ（引いて0V・解除して12V）のコードに変更してください。

ブレーキ（黄）コードをフットブレーキへ配線していない場合

③5.（専用ハーネス・リレー部の配線）で灰色のコードのさし替えを行ないましたか？
④リレー部のATシフトストップスイッチを『1の場合2』へ、『2の場合1』へ変更してください。
⑤③④がOKでもエラーランプが点灯するなら、ブレーキ（黄）コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

トラブル 3. の時、セルモーターが回り続ける場合

対策 ブレーキ（黄）コードを黒コードから抜いて、フットブレーキへ配線してください。

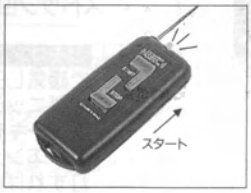
セットについて

⚠注意 事故・故障などを防止するためリモコンでエンジン始動のテストを行なって、各動作確認を必らず行なってください。動作確認で正常に働かない場合は下記の対策方法にて対処してから使用してください。

リモコンで エンジン始動のテスト

- ●IDメモリーのセットが行なわれていないと作動しません。
- ●ATシフトはPポジションにしてください。
- ●イグニッションキーは、OFFにしてください。

1. リモコンのスタートスイッチを、2〜3秒スライドさせる（LED赤点灯）



2. 操作部の暖気LEDが点灯する

セットについて

2 セルタイムの確認

確認 リモコンでエンジン始動のテスト を行ない、4. でセルモーターの回る時間を確認する。

セルタイムを短かくする場合
ボリューム用ドライバーで左方向へ回す。

セルタイムを長くする場合
ボリューム用ドライバーで右方向へ回す。

3 キースイッチ優先回路の確認

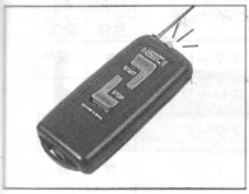
確認 リモコンでエンジン始動のテスト を行ない、4. でアイドリング中にイグニッションキーをONまで回して、暖気LEDの点滅が中止すればOK。

⚠注意 イグニッションキーをセルまで回すと、セルモーターが故障する恐れがありますので、ONの位置で止めてください。

トラブル 3. の時に、イグニッションキーをONの位置にしても暖気LEDの点滅が止まらない場合

対策
①イグニッションキーと専用ハーネスとリレー部の緑コードが接触不良になっていませんか？
②専用ハーネスが間違っていませんか？

3. リモコンのLEDが緑で約2秒間点灯



4. 1.5又は5秒後にセルモーターが回り、暖気LEDが点滅する

5. リモコンのストップスイッチを、2~3秒スライドさせる(LED赤点灯)、エンジンがストップする（LED緑点灯）

4 エンジンの始動確認

確認 リモコンでエンジン始動のテスト 行ない、4．でアイドリング中にリモコンのスタートスイッチをオンにすると、LEDが赤で点灯後橙で約2秒間点灯すればOK。

5 ボンネットスイッチの確認

確認 リモコンでエンジン始動のテスト を行ない、4．でアイドリング中にボンネットスイッチを付けたボンネットレバーを引くと電源が切れ、エンジンがストップします。次に、イグニッションキーをONにしてパワースイッチを押して電源が入ればOK。

セットについて

3. リモコンについて

注　意

●リモコンのスイッチは一度電波を出した後は、2秒以上経過してからスイッチを入れないと電波が出ません。
●駐車時、高温になる車内などにリモコンを置かないでください。
●リモコンを落下するなど強いショックを与えないでください。

はたらき

リモコンの機能		スイッチ	リモコン表示	
			発信	受信
リモコンでエンジン始動する時		スタート	赤	緑
リモコンでエンジンストップする時		ストップ	赤	緑
エンジン始動確認する時	(エンジン始動中)	スタート	赤	橙
	(エンジン始動してない時)	スタート	赤	緑
ターボタイマーでアイドリング中にエンジンを止める時		ストップ	赤	緑
IDメモリーのセットする時		スタート/ストップ同時	赤	緑点滅

■電池の交換について

●電波の飛距離が短くなってきた時は電池の交換をしてください。
●電池はコイン型マンガンリチウム電池　CR2430×2個を使用してください。
●電池をホルダーにはめる時は、ホルダーの＋と2個の電池の＋を同じ向きにしてください。

1. リモコンを裏側に向け左下側のスキ間に爪を入れ引き出す

2. 2個の電池をホルダーからはずす

3. 新しい電池を2個共ホルダーの＋と同じ向きにしてはめる

4. リモコンにホルダーをはめる

■リモコンを紛失した時は、

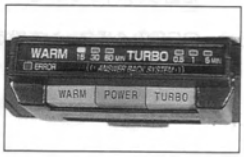
●本機はIDメモリー方式（リモコンのIDを操作部に記憶させて使用する方式）を採用しているため、リモコンと本体をセットで交換する必要がありません。したがってリモコンのみの購入で再使用することができます。ご購入された販売店でピータイム335のリモコンをご注文してください。

4. リモコンでエンジンスタートさせた時のアイドリング時間の変更

セット方法

- ●アイドリング時間の初期設定（変更しない場合）は15分です。
- ●アイドリング時間は、15分、30分、60分の3パターン設定できます。
- ●セットする時、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをPポジションで行なってください。

1.



POWER ON

2.

WARMスイッチを押して好みのタイムを設定する。

●アイドリング（点滅）中にエンジンを止める時は

リモコンのストップスイッチをオンする又はパワースイッチをオフにしてください。パワースイッチでオフにした時、次に使用する場合にはパワースイッチをオンにしないと使用できません。

●アイドリング（点滅）中に走行する時は

イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みながらATシフトをチェンジしてください。

5. マニュアルターボタイマーのセット

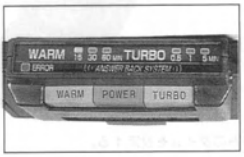
⚠注意

●ターボタイマーを使用する時、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、ATシフトがⓅポジション以外でもイグニッションキーが抜けるようになります。
●従って暴走事故を防止するため、ATシフトをⓅポジションに入れた事を確認してからイグニッションキーを抜いてください。

セット方法

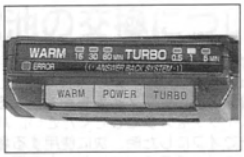
●セットする時、イグニッションキーでエンジンを始動し、ATシフトをⓅポジションで行なってください。
●マニュアルターボタイマーは30秒・1分・5分・OFFの4パターンを設定できます。

1.



POWER ON

2.



TURBOスイッチを押して好みのタイムに設定する

●アイドリング（点滅）中にエンジンを止める時は

リモコンのストップスイッチをオンする又はパワースイッチをオフにしてください。パワースイッチでオフにした時、次に使用する場合にはパワースイッチをオンにしないと使用できません。

●ターボタイマーを使用しない時は

TURBOスイッチを押してターボLEDを消してください。

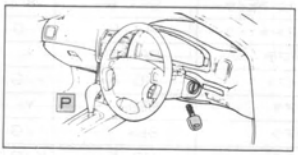
●アイドリング（点滅）中に走行する時は

イグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みながらATシフトをチェンジしてください。

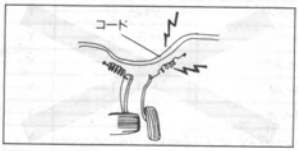
6. コード収納・据付

●取付け、各機能の確認後にコードの収納・据付を行なってください。

⚠危険 誤ったビータイム（操作部・リレー部・コード類）の収納方法は、月日が過ぎてからでも、事故や火災などのアクシデントを引き起す原因になります。
下記の注意を守って作業を行なってください。



作業中、イグニッションキーは必ず抜き、ATシフトはP、ハンドブレーキをしっかり利かせてください。

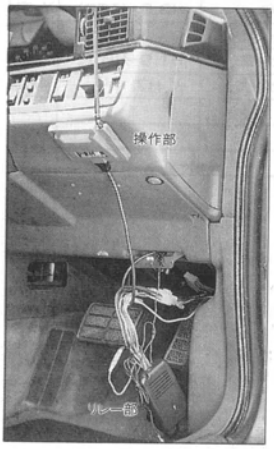


●ビータイムを収納すると、ビータイムのコードや車のコードが移動してコードが車の金属部（ペダル・スプリング・鋭利な鉄板など）に触れやすくなります。
コードを収めるスペースで車の金属部がある場合、予め付属のコード保護テープを貼って置いてください。
（収納時にコードの被覆を削ってしまう事も防止してください。）
●コード保護テープは貼り直しができません。コードの配線確認や配線のやり直しなどを考えて、『コードではなく、金属部に貼ってください。』
●特にブレーキのスプリングは保護してあっても危険です。絶対にコードが触れない場所を選択して配線してください。

コード保護テープ

インシュロック(小)

据付



●操作部は両面テープでフラットな面に取付けてください。
●車のダッシュボードなどにそのまま両面テープを使用又は、貼り直しをすると、充分な接着力が得られません。
●両面テープを貼る面は中性洗剤などで完全に油分やよごれを落し空ふきをしてから、貼り直しをせずに取付けてください。

●リレー部はリレー部固定用インシュロック（大）で車の配線などに共締めしてください。

車のL端子コードの色一覧表1

この表の中から、あなたのお車のL端子線の色をご確認の上、間違いのないように配線して下さい。

1996. 7月現在

B	BR	CH	DG	G	GY	L	LG	OR	P	R	SR	W	Y
黒	茶	こげ茶	暗緑	緑	灰色	青	若葉色	橙色	桃色	赤	空色	白	黄

TOYOTA

	年　式	L端子の色
スターレット	S59. 1～	Y/W
スターレット	H1.12～(4E-F 1N)	Y/B
スターレット	H1.12～(その他)	Y/R
カローラⅡ・ターセル・コルサ	S61.5～(ガソリン)	Y/R
カローラⅡ・ターセル・コルサ	S61.5～(ディーゼル)	Y
カローラⅡ・ターセル・コルサ	H2. 9～	Y
カローラⅡ・ターセル・コルサ	H6. 9～	Y/B
サイノス	H3. 1～	Y/B
セラ	H2. 3～	Y/B
セレス・マリノ	H3. 6～	Y
カローラ・スプリンター・レビントレノ	S62. 5～	Y
カローラ・スプリンター・レビン・トレノ	H3. 6～	Y
カローラ・スプリンター・レビン・トレノ	H7. 5～	Y
カローラFX	S60. 5～	Y
カローラFX	H1. 6～	Y
カリブ	全　車	Y
MR-2	S59. 6～	Y
MR-2	H1. 10～	Y
セリカ	S58. 5～	Y
セリカ	H1. 9～	Y
セリカ	H5. 10～	Y
カレン	H6. 1～	Y
カリーナ・コロナ	H1.8～(3E-J)	Y/W
カリーナ・コロナ	H1.8～(その他)	Y
カリーナ・コロナ	H4. 8～	Y/R
ED・EXIV	H1. 9～	Y
ED・EXIV	H5. 10～	Y
カルディナ	H4. 11～	Y/R
カムリ・ビスタ	S61. 8～	Y
カムリ・ビスタ	H2. 7～	Y
カムリ・ビスタ	H6. 7～	Y
ウインダム	H3. 9～	Y

	年　式	L端子の色
アバロン	H7. 5～	Y
セプター	H4. 8～	Y
マークⅡ・クレスタ・チェイサー	S63. 9～	Y
マークⅡ・クレスタ・チェイサー	H4. 5～	Y/G
スープラ	S61. 2～	Y
スープラ	H5. 5～	Y/G
ソアラ	S59. 1～	Y
ソアラ	S63. 1～	Y/G
ソアラ	H3. 5～	Y/G
アリスト	H3. 10～	Y
クラウン	S62. 9～	Y
クラウン	H3. 10～	Y
マジェスタ	H3. 10～	Y
セルシオ	H1. 1～	Y
セルシオ	H6. 10～	Y
タウンエース・ライトエース・マスターエース	S60.8～(4/5K-J)	Y
タウンエース・ライトエース・マスターエース	(その他)	W
タウンエース・ライトエース・マスターエース	H4. 1～	W
ハイエース	S57. 12～	Y/B
ハイエース	H1. 9～	Y
エスティマ	H2. 5～	Y
エスティマ ルシーダ・エミーナ	H4. 1～	Y
RAV-4	H6. 5～	Y
ハイラックス	S63. 9～	Y/B
ハイラックス	H2.8～(3Y-E)	Y
ハイラックス	(その他)	Y/B
ハイラックス	H3.9～(3VZ-E)	Y
ハイラックス	H3.9～(その他)	Y/B
ランドクルーザープラド	全　車	W/L
ランドクルーザー80	H1.9～H6.12	Y/W
ランドクルーザー80	H7. 1～	Y/L

車のL端子コードの色一覧表2

NISSAN

	年　式	L端子の色			年　式	L端子の色
マーチ	S63. 5～(MAIOS)	R		ローレル	H6. 9～	W/R
マーチ	S63. 5～(その他)	W/R		レパード	S60. 10～	W/B
マーチ	H4. 1～	Y/R		レパードJフェリー	H4. 6～	B/Y
Be-1・パオ・フィガロ	S62. 1～	W/R		クルー	H6. 1～	GY/Y
サニー・ローレルスピリット	H2. 1～	Y/R		セドリック・グロリア	S62.6～	LG/B
サニー・ルキノ	H6. 1～	Y/R		セドリック・グロリア	H3. 6～	Y/G
NXクーペ	H4. 1～	Y/R		セドリック・グロリア	H7. 6～	W/R
パルサー	H2. 7～	Y/R		フェアレディZ	S58. 9～	BR/W
パルサー	H7. 1～	Y/R		フェアレディZ	H1. 7～	W/R
アベニール	H2. 5～	Y		シーマ	S63. 1～	LG/B
プリメーラ	H2. 2～	Y/R		シーマ	H5. 9～	Y/G
プレセア	H2. 6～	Y/R		インフィニティQ45	H1. 11～	W/R
プレセア	H7. 1～	Y/R		プレジデント	H2. 10～	W/R
ブルーバード・ブルーバードアテーサ	S63. 9～	W/R		プレーリー	S63. 9～	W/R
ブルーバード・ブルーバードアテーサ	H3. 9～	Y/R		パネットラルゴ	S60. 8～	Y
ラングレー・リベルタビラ	S60. 9～	W/R		ラルゴ	H5. 9～	W/R
シルビア	S63. 5～	W/R		セレナ	H3. 9～	W/R
シルビア	H5. 10～	W/R		キャラバンホーミー	S63. 5～	W/R
180SX	H1. 3～	W/R		キャラバンホーミー	H2. 5～	W/R
セフィーロ	S63. 9～	W/R		ラシーン	H6. 12～	Y/R
セフィーロ	H6. 8～	W/R		テラノ	S61. 8～	Y/B
スカイライン	S60. 8～	W/B		ミストラル	H6. 6～	GY/L
スカイライン	H1. 5～	W/R		サファリ	H6. 10～	W/R
スカイライン	H5. 8～	W/R		エスカルゴ	H1. 1～	W/R
ローレル	H1. 1～	W/R		ADワゴン・サニーカルフォルニア	H5. 8～	Y/R

車のL端子コードの色一覧表3

この表の中から、あなたのお車のL端子線の色をご確認の上、間違いのないように配線して下さい。

1996. 7月現在

B	BR	CH	DG	G	GY	L	LG	OR	P	R	SR	W	Y
黒	茶	こげ茶	暗緑	緑	灰色	青	若葉色	橙色	桃色	赤	空色	白	黄

MITSUBISHI

	年　式	L端子の色
ミニカ	H1. 1~	L
ミニカ	H5. 9~	L
ブラボー	H3. 10~	L
ミラージュ・ランサー	S62. 9~	W
ミラージュ・ランサー	H3. 10~	L
リベロ	H4. 5~	L
ギャラン・エテルナ	S62. 8~	W(黒い方)
*ギャラン・エテルナ・エメロード	H4. 5~	W
シグマ・ディアマンテ	H2. 10~	W(黒い方)
ディアマンテ	H7. 1~	W
シャリオ	H3. 5~	L
RVR	H3. 1~	L
スタリオン	S59. 6~	W
エクリプス	H2. 4~	B/W
エクリプス	H7. 6~	B/Y
FTO	H6. 11~	W/G
GTO	H2. 10~	L
デボネア	H1. 10~	W(黒い方)
デボネア	H4. 10~	W
デリカ（スターワゴン）	S61. 5~	L
デリカ（スペースギア）	H6. 6~	W
パジェロ・ミニ	H6. 12~	L
パジェロ	S61. 5~	W(黒い方)
パジェロ	H3. 1~	W

DAIHATHU

	年　式	L端子の色
ミラ	H2. 3~	W/R
ミラ	H6. 9~	W/R
リーザ	S63. 9~	W/G
オプティ	H4. 1~	W/R
アトレー	S63. 10~	W/G
アトレー	H6. 1~	取付不可
シャレード	S62. 1~S63. 7	W/R
シャレード	S63. 8~	Y/W
シャレード	H5. 1~	取付不可
ラガー	全　車	W/R
ロッキー	H2. 6~	Y

SUBARU

	年　式	L端子の色
レックス	S61. 11~	W/R
ヴィヴィオ	H4. 3~	W/R
サンバー	H2. 3~	W/R
ドミンゴ	S61. 6~	W
ジャスティ	S62. 10~	W/R
インプレッサ	H4. 11~	B/W
レガシー	H1. 2~	B/W
レガシー	H5. 10~	W
アルシオーネ	S60. 5~	W/R
アルシオーネSVX	H3. 10~	W

MAZDA

	年　式	L端子の色
キャロル	H2. 2~	W/R
AZ-1	H3. 6~	W/R
ボンゴ	S61. 11~	Y/L
ボンゴブレンディ	H7. 5~	L/OR
その他のマツダ系車		W/B

ISUZU

	年　式	L端子の色
ジェミニ	H2. 3~	W/L
ジェミニ	H5. 8~	W/L
PAネロ	H3. 6~	W/L
ピアッツァ	H3. 7~	W/L
アスカ	H2. 5~	W/L
ファーゴ	全　車	W/L
ビッグホーン	H3. 11~	W/G
ビッグホーン	H7. 6~	W/G
ミュー	H1. 5~	W/L
ファスターロデオ	H1. 9~	W/L

HONDA

	年　式	L端子の色
ホライゾン	H6. 2~	W/G
その他のホンダ系車		W/L

SUZUKI

	年　式	L端子の色
全　車		W/R